

## 取手駅周辺の 自転車通行

川又 貞男 議員



治助坂

**問** 取手駅周辺は坂が多い。治助坂では、駅に行くときは自転車が勢いよく歩道を下りてくるのが本当に危険なのでやめるべき。逆に帰るときは、みんな自転車を押して歩いている。道路交通法改正により、自転車について非常に厳しくなった。また、実際に自転車の事故というのは年々増えている。市内で今まで起きてないから大丈夫とは保証できない。この地域は、ウエルネスプラザが建ち、子どもからお年寄りまで来ることになっていたので、人が多く通るようになったときに、自転車は今までもおりのやり方でいいのか。この地域だけ自転車で歩道を通る場合は、押して歩くようにしてもらえないかと

いうことを提案するが、どうか。

**総務部長** 駅周辺に限らず、取手市内の安全安心なまちづくりという観点から、取手警察署のほうに取り締まりをお願いしたい。市は、特に危険とされている地区について、キャンペーンを行ったり、啓発の看板を設置したりして、警察と協力し合い、道路交通法と自転車安全利用条例を順守する体制を整えることが、今の課題と考えている。

**問** 自転車の放置を禁止している地域だけでも、自転車を降りて歩くことを決めてもらえればと思うが。

**答** 法と条例を周知し、順守することが大事。取り締まりは、引き続き警察に要望していきたい。

## 取手の農業を守れ！

遠山 智恵子 議員

**問** 市独自の農業支援策の実施について。

**まちづくり振興部長** 認定農業者に対して、経営効率化のため1枚の田を大きくする際の補助金、それに伴う技術支援、畦畔除去、土地改良の補助金が大きい。それ以外に転作に対する補助、設備投資した際の借入金に対する利子補給などを実施。他に国や県の補助制

度も活用したバランスよい補助体系をとっている。

**問** 農業の後継者問題について市の取り組みは。

**農政課長** 認定農業者の支援に加え、新規就農の関係で各関係機関と連携を取り、融資等の支援を行っている。

**問** 来庁者への農業支援はしっかりやっているが、ホームページの活用は。

**まちづくり振興部長** 市のホームページと内容的には変わらないが、デザインが非常に古くなっている。今後は、農地の貸し借りに関する情報掲載等、一般的なホームページのリニューアルを準備していきたい。

**問** 地元食料自給率の向上につながる米飯給食の拡大への取り組みは。

**教育部長** 本年度から米粉パンの回数を月1回に大幅に増やした。パンは取手市産の米を使用。小麦アレルギーのある児童生徒への対応として米飯の回数を増やすことは必要かと思うが、金銭的な部分も絡んでくる。

## 取手の魅力を伝える 情報発信を！

佐藤 隆治 議員

**問** 市内外の方に住みたい、訪れたいと思わせるような、市の魅力ある情報発信については、何を媒体として行っているのか。

**市長** 市民には広報や政策情報紙があるが、いろいろなものを総合的に発信するという意味では、ホームページが一番大きい。ホームページは、職員全員が情報発信できるよう研修を行っている。ホームページをリニューアルする予算も提案しているので、魅力あるものを作っていきたい。

**問** ホームページを具体的に変えていく中で、どういうことを掲載していくのか。

**政策推進部長** 例えば普段職員が当たり前だと思っている高齢者対策は、日経グローバルのランキングで県内2位、全国(702市区中)47位で、もっとPRしていかなくはない。こういういった他の人が見たときにすごいという情報をもっと密度を上げて拾い上げ、宣伝していくことが必要と考えている。

**問** 取手は住みよいまちであり、幾つも中身の濃い事業をやっているが、コマース不足の部分が多々あると思う。今後、もっと取手の良さを前面に出していきたいと思うが。

**答** シティセールス、他からの呼び込みが足りないのは事実。ホームページの見直しと合わせて、3月までにいかに市を売り込むかについても内部で十分協議していきたい。

## 子どもたちの 安全のために

池田 慈 議員



桜が丘小学校体育館

**問** どの小学校でも防犯マップは保護者に配付していると思うが、これに避難場所や浸水箇所等を加え、防犯と防災の観点、2つを併せ持つ防災・防犯マップを地域の安全、通学路の安全のために、保護者、自主防災会などと作成できないか。

**教育部長** 子どもの安全のために、横の連携を密にして、次回作り変える際にいろいろと工夫したい。

**問** 桜が丘小学校の地盤沈下対策について、PTAや学校から対処してほしい要望があるが、どのような対策を考えているか。

**答** 地盤沈下がおさまらず、抜本的な対策は無理だと考えている。局所的な対応で引き続き点検、危険箇所の改修に気を配っていきたい。

**問** 学校防災マニュアルの進捗状況は。

**教育次長** 10月に校長会に最終原案を提示し、承認された。また教育委員会でも策定した内容の説明を行っている。

**問** 連携、協力のためにも学校防災マニュアルのダイジェスト版を作り、保護者や地域の人に配付し、説明をしてはどうか。

**答** 他の自治体でいろいろ工夫しているので研究しなければならぬが、一番大切なのは、災害時にどういうことが必要かということ。学校は、災害時の動きについて徹底しているので、保護者に安全な対応ができることを知らせていきたい。

議会日程や審議結果などについては…

ひびきメール

(受信には登録が必要です。)



議会の予定、当日の開催状況などについては…

議会ツイッター

